



森の楽校だより

VOL. 28

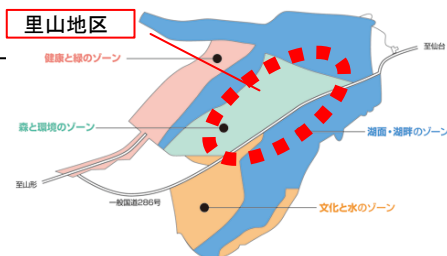


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



3 月 9 日（土）晴れ ツリーハウスの屋根葺き

午後からは、ツリーハウスの屋根葺きができました。



今回の活動は、朝からこれまでにないほどの強い風が吹いていました。そのため、午前中はツリーハウスの作業は取り止め、状況を見ながら、風の影響を受けない場所で作業を行いました。

午後になって、ようやく風もおさまり、本日予定していた屋根葺き作業を半日遅れで始めることができました。

「森の楽校」は自然の中での活動です。雨や雪、時には強風が吹き荒れ、予定通りの作業ができないこともあります。が、「安全第一」をモットーに最後の活動に備えます。

思い思いの作業

午前中の空いた時間は、工具のメンテナンスをしたり、丸太の端材で、コースターやおもちゃづくりなど思い思いの作業を行いました。



手摺づくり

前回までに 16 本の羽子板付支柱を用意しました。今回はその支柱をセカンドデッキに取付け始めました。



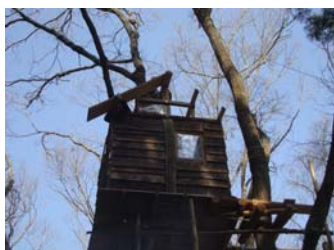
スギ枝の片付け

冬の間に伐倒したスギの枝が、雪に埋もれ、残ったままの状態になっていました。春を間近に控え、草花の芽吹きの時期に支障にならないよう、伐倒したスギの枝を払い、片付けを行いました。

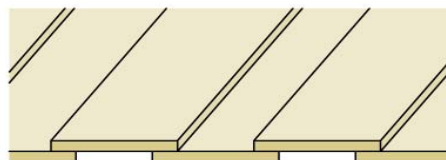


ツリーハウスの屋根葺き

午後には風もおさまり、屋根葺きの作業を始めることができました。板を張った継ぎ目の部分に上からやや幅の狭い板を重ねて張っています。一般的に、板を1枚おきに上下に張っていく方法を「大和葺き」と言います。今回は、それとは少し異なりますが、板の継ぎ目から雨水が浸入しないための方法です。

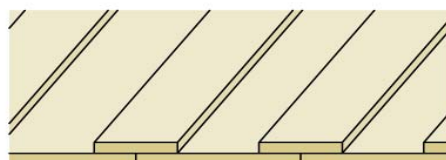


一般的な大和葺き



板を1枚おきに上下に張り
その端を少しずつ重ねて葺く方法

ツリーハウスの屋根葺き



板を1列に張り、その継ぎ目部分にやや幅の狭い板を重ね合わせている。

春の気配

雪の解けた里山には、少しずつですが、春の気配を感じさせるものが見られ始めました。

